

ばりっ子会議から市政への提言プロジェクト

実施主体：名張市役所 子ども家庭室

“名張市の魅力を伝えたい！” みんなの思いを実現しよう

メンバー：大垣内友菜・田中深月
(3年 教育学部)

実施主体：名張市子ども家庭室

活動期間：6月から翌年1月まで



なばりん



こんな人にオススメ

- ・自分の地元に貢献したい人
- ・小学生と関わる機会がほしい人
- ・市の職員の方からお話を聞きたい、関わってみたい人

プロジェクトについて

このプロジェクトでは地域の小学生が主体となり、市政へのお願いを考えたり、“リアルお店屋さんごっこ”のばりっ子モールを通して地域の活性化を目指したりなど、約1年間で様々な活動に取り組みます。私たちの役割は、子どもたちの発想や挑戦を見守りながら、まちづくりへの参加を後押しすることです。

令和7年度の活動

- (6月)・自己紹介
・ばりっ子会議についての説明
- (7月)・「こんな名張市になってほしいな」について話し合う
- (8月)・提言内容の決定
・今年の活動内容の決定
- (9月)・ばりっ子モールの準備
- (10月)・ばりっ子モールの準備
・清掃活動、レクリエーション
- (11月)・ばりっ子モール開催
- (1月)・反省会、提言式

ばりっ子会議って？

ばりっ子会議は、「自分たちの住む名張市をよりよくしたい！」という思いをもつ小学生たちが中心となって意見交流やイベントの企画をする活動です。

ばりっ子モールでは

午前、午後の部とも多くの人でにぎわいました。カフェでは名張名物のかたやきを使った、“かたやきアイス”や、牛汁が大人気ででした！

提言式では

今年は「“かたやきアイス”を市内の多くのお店で販売してほしい」、「名張市をきれいな街にするために、子どもから大人までみんなで行動しよう」という二点を提言しました。

活動中の様子

